



不安や悩みを抱える仲間たちへ劇でエールを 追手門学院高校演劇部が3年連続最優秀賞受賞

追手門学院高等学校（大阪府茨木市、校長：木内淳詞）の演劇部は、2020年11月14日（土）～15日（日）に開催された「第70回大阪府高等学校演劇研究大会」で最優秀賞を受賞し、来年1月に開催される近畿大会へ出場します。

最優秀賞の受賞は、今回で3年連続です。

今年の大阪府大会は、各地区から代表9校が参加し、感染防止の観点から、観客を制限し、結果発表をWEBで行うなど、規模を縮小して開催されました。

本学の演劇部は毎年、日常生活や身の回りにあるテーマを、自分たちの視点で切り取り、リアリティ溢れるオリジナルな作品を創作し、上演しています。

今年は、大学入試制度の変更や、2月～5月の一斉休校や部活動の制限など、先が見えない不安の中でも、悩みを抱える仲間たちにエールを送ろうと、生徒たちは『学校へ行こう』（演劇部原案/いしいみちこ構成脚本/神永真美補作）という作品を創作しました。作品は、家庭科の特別課題「理想の人生」を生徒が演じるという展開で話が進んでいきます。生徒たちは、この作品で「どんな状況にあっても人生は続いていく。寄り添い合って生きていこう。」というメッセージを込めています。



3年連続最優秀賞に輝いた演劇部



『学校へ行こう』の上演の様子

現在も近畿大会に向け、感染防止対策を講じながら、練習に取り組んでいます。

【近畿大会 開催概要】

大会名：第55回近畿高等学校演劇研究大会

開催日：2021年1月22日（金）～24日（日）※本校の上演は1月22日（金）15時半～

会場：京都芸術劇場 春秋座 studio21

参加校：全6校（各府県より代表1校）

【ポイント】

- 大阪府大会 3年連続最優秀賞受賞。来年1月に開催される近畿大会への出場が決定
- 悩みを抱える仲間たちに向けエールを送る作品『学校へ行こう』を創作し、上演